

5月 29日-6月 4日

## 歴代第二 28-29章

54番の歌と祈り 五味 統 B

開会の言葉 (1分) 星 延宏 B

### 神の言葉の宝

「どんな生い立ちでもエホバに仕えることができる」 (10分) 田中 克彦 B

宝石を探し出す (10分) 伊藤 勇一 B

代二 29:25 その間にヒゼキヤは、ダビデ、王に神からの幻を伝える人ガド、預言者ナタンの命令に従って、レビ族にシンバルと弦楽器とて琴を持たせ、エホバの家に立たせた。その命令はエホバが預言者たちを通して与えたものだった。  
エホバから正された時、ナタンはそれを受け入れた。このことから何を学べるか。  
(塔 12 2/15 24 ページ 6-7 節) エホバの忠実な崇拝者だったナタンは、地上初の清い崇拝の恒久的な中心地を建設するというダビデの計画を、熱心に支持します。この時ナタンはエホバの名によって語ったのではなく、自分の気持ちを述べたようです。ところがその夜、神はこの預言者に、それとは違うことを王に伝えるよう指示されます。ダビデがエホバの神殿を建てるのではなく、息子の一人がそうするのです。ナタンはその指示をダビデに伝えますが、同時に、神がダビデと結ばれる契約についても告げます。ダビデの王座は「定めのない時までも堅く立てられたものとなる」という契約です。—サム二 7:4-16。 神殿建設に関連した神のご意志は、ナタンの判断とは異なっていました。しかし、謙虚なこの預言者は、神から正されても不平を言うことなく、神の目的と調和して行動しました。なんと立派な手本でしょう。その後の預言者としての活動が示すとおり、ナタンが神の恵みを失うことはありませんでした。実際ナタンは、幻を見る者であるガドと共にエホバから靈感を与えられ、ダビデが神殿での奉仕において4,000人の音楽家を組織するのを導いたようです。—代一 23:1-5。代二 29:25 その間にヒゼキヤは、ダビデ、王に神からの幻を伝える人ガド、預言者ナタンの命令に従って、レビ族にシンバルと弦楽器とて琴を持たせ、エホバの家に立たせた。その命令はエホバが預言者たちを通して与えたものだった。

今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。ほかにどんな宝石を見つけたか。(28:9 - 15) サマリアに連れて来られた20万人のユダの捕虜を預言者オデドによるエホバからの助言に従って、捕虜を好意的に扱ってユダに送り返した美談が記録。私たちが悪に悪を返さないのは、それが正しく愛のある行為だというだけでなく、ここでは悪に悪を返すことがエホバの不興を招く可能性があることも教えてくれる。特に9節後半「激しい怒り…は天に届き」と表現されている。それで将来敵であるように思える人々にも決して憎しみを抱くことがないよう、大変ですが一層真の愛について学んで、それを培うように自分を訓練していきたいと思った。

聖書朗読（4分）[代二 28:1-11（教励 第10課）](#) 長谷川 瑛一 B

## 野外奉仕に励む

最初の話し合い（3分）[話し合いのサンプルの話題](#)に沿って話す。よくある反対意見に対応する。[（教励 第4課）](#) 金刺 桂子 S 4 水品 由美子 S

再訪問（3分）[話し合いのサンプルの話題](#)に沿って話す。宣教ツールボックスの出版物を提供する。[（教励 第19課）](#) 中田 由美 S 19 高橋 紗子 S

聖書研究（6分）[暮 レッスン 10 ポイント 4（教励 第13課）](#) 福永 和子 S 13 田島 マヤ S

## クリスチャンとして生活する

### 56番の歌

「[エホバは『孤児の父』](#)」（8分）討議。[動画](#)を視聴する。河野 正和 B

会衆の必要（7分）佐藤 貴之 B

会衆の聖書研究（30分）[暮 レッスン 47](#) 浮田 蒼 B 朗読：長谷川 貴史 B

閉会の言葉（3分）星 延宏 B

86番の歌と祈り 竹林 直毅 B

▲ [（代二 28:1-29:36）](#) アハズは20歳で王になり、エルサレムで16年治めた。彼はエホバから見て正しいことを行わず、父祖ダビデのようではなかった。2 イスラエルの王たちと同じ道を歩み、バアルの金属像\*を作ることさえした。3 その上、イスラエル人の前からエホバが追い払った国々の忌まわしい行いをまねて、ヒンノムの子の谷\*で犠牲の煙を立ち上らせ、自分の子を火で焼いた。4 また、高い場所や丘の上、全ての生い茂った木の下で犠牲を捧げたり、犠牲の煙を立ち上らせたりし続けた。5 それで、エホバ神はアハズをシリアの王の手に渡した。そのためアハズは打ち破られ、多くの捕虜がダマスカスに連れていかれた。アハズはイスラエルの王の手にも渡され、大勢の人が討たれた。6 勇敢な者12万人がユダで1日のうちにレマルヤの子ペカハに殺されたのである。ユダが父祖たちの神エホバを捨てたからだった。7 さらに、王の子マアセヤ、宮殿を任せされていたアズリカム、王に次ぐ地位にいたエルカナが、エフライム族の戦士ジクリに殺された。8 イスラエル人は同胞の中から女性や息子や娘たち20万人を捕らえて連れていき、たくさんの物を奪ってサマリアに持っていった。9 サマリアにはオデドというエホバの預言者がいた。オデドは戻ってきた軍隊の前に出ていき、こう言った。「あなたたちの父祖の神エホバがユダをあなたたちの手に渡したのは、神がユダに対して怒ったからです。それなのに、あなたたちは激しい怒りを抱いて彼らを殺しました。その怒りは天に届きました。10 今あなたたちは、ユダとエル

神の言葉の宝

## どんな生い立ちでもエホバに仕えることができる

ヒゼキヤの父親であるアハズは邪悪な王だった。 ([代二 28:1。塔研 16.02 14 ページ 8 節](#))

父親の悪い手本を見て育ったにもかかわらず、ヒゼキヤはエホバに仕えることを選んだ。 ([代二 29:1-3。塔研 16.02 15 ページ 9-11 節](#))

父たちが不忠実だとしてもエホバに仕え続けるよう、ヒゼキヤは人々を励ました。 ([代二 29:4-6](#))



考えてみよう：「エホバの証人でない親を持つ若い人たちをどのように励ますことができるだろうか」。

^ (代二 28:1) アハズは20歳で王になり、エルサレムで16年治めた。彼はエホバから見て正しいことを行わず、父祖ダビデのようではなかった。

^ (代二 29:1-3) ヒゼキヤは25歳で王になり、エルサレムで29年治めた。彼の母はアビヤといい、ゼカリヤの娘だった。<sup>2</sup> ヒゼキヤは父祖ダビデと同じように、エホバから見て正しいことを行い続けた。<sup>3</sup> 彼は治世の第1年の第1の月に、エホバの家の扉を開いて修理した。

^ (代二 29:4-6) それから、祭司とレビ族を呼び寄せ、東の広場に集めた。<sup>5</sup> そして言った。「レビ族の皆さん、聞いてください。今、自分を神聖なものとし、皆さんのお父祖の神エホバの家を神聖なものとし、聖なる場所から汚れたものを取り除きなさい。<sup>6</sup> 私たちの父たちは不忠実で、エホバ神から見て悪いことを行いました。神を捨てて、エホバの幕屋から顔を背け、神に背を向けました。



クリスチャンとして生活する

## エホバは「孤児の父」

毎年、大勢の若い人がエホバの友になる道を選んでいます。 (詩 110:3 あなたが軍勢を指揮する(\*あなたの軍隊が集まる)日に、あなたの民は喜んで自分を差し出す。 あなたが率いる若者たちは神聖さで光り輝く。 夜明けに豊かに生じる露のよう) エホバはその一人一人をとても大切に思っています。あなたがどんな問題に直面しているかをよくご存じですし、ご自分に仕え続けられるよう助けると約束しています。ひとり親家庭だとしても、エホバが「孤児の父」となってくださることを忘れないでください。 (詩 68:5 孤児(\*父親のいない子供)の父、やもめを保護する方(d\*裁く方)、それは聖なる住まいにいる神) どんな家庭環境にいても、クリスチャンとして成長できるようエホバが助けてくださいます。 (ペテ一 5:10 皆さんのが少しの間苦しんだ後、惜しみない親切に満ちる神は、皆さんの訓練を終えます。永遠の栄光を与えるためにキリストを通して招いてくださった神が、皆さんをしっかりした人、強い人、揺らぐことのない人にしてくださるのです)



「信仰のために立派に戦っている人たち ひとり親家庭で育った人」の動画を見て、次の質問に答えましょう。

1. タミー、チャールズ、ジミーの例からどんなことを学べますか。

育った環境で全てが決まる訳ではない。大変な時もあるが、エホバが助けて祝福してくださる。

2. ひとり親家庭で育つ人にとって、詩編 27 編 10 節たとえ父と母に捨てられても、エホバが迎えてくださるはどのように力になりますか。

エホバが付いているので、心配せずに、積極的に靈的な活動ができる。

「

タミーS：母から JW を辞めて父と別れると言わされた。母と別れるのはとても辛かった。私たち子供は母と同じ過ちをしないと心に決めた。どう生きるかを決めるのは自分。それで、15歳の時にバプテスマを受けることにした。私たちはいつも一緒だった。一緒に開拓奉仕をして、必要な大きなカンボジアにも一緒に行った。二人は今は夫婦で全時間奉仕をしている。そして私はミャンマーべテルで夫と 11 年奉仕している。エホバは生い立ちで人を判断したりはしない。エホバは人の可能性を見てくれる。エホバが付いているので何だってできる。

チャールズB：私が 4 歳の頃、両親が不活発になった。父はほとんど家に居らず。両親の離婚はこたえた。女手一つで男の子 2 人を育てるのは大変だったと思う。仕事を掛け持ちしていたので、エホバのことは後回しになった。

私が 15 歳のある日、母は子供たちを集会に連れて行った。これを最後に集会にはもう行かないと決めていたようだった。その時扱われた会衆の必要は、母にぴったりだった。エホバが母の心を開き、母は別人のようになった。

母が頑張るのを見て、私も奉仕の目標を持った。夫婦で王国福音伝道者のための最初のクラスに出席し、今では巡回奉仕をしている。

詩 27:10 のダビデの言葉を思い出す。「例え父に捨てられても、エホバが迎えてくださる」とある。私の場合がそうだった。

ジミーB：母が聖書を学び始めると、父が反対し始めた。集会に行こうものなら、無理やり連れ戻された。母を罵倒し殴った。

離婚して母はふさぎ込むようになった。本来エホバに求められていることではないが、母は父親の分まで頑張ってくれた。

反対する父親が居なくなったので、自由に伝道に行けた。集会にも堂々と行けた。出版物を隠す必要もなくなった。

母の手本が私にとって大きかったと思う。母はエホバとの絆を何よりも大切にしていた。母の手本もあり、エホバに仕えるための目標を持ち、達成できた。高校最後の年を開拓奉仕を始め、全時間奉仕 20 年になる。ブルックリンベテルとオーウィックで妻とともに奉仕してきた。

育った環境で全てが決まる訳ではない。ペテー 5:10 には「神は皆さんに訓練を終える」とある。大変な時もあるが、エホバが助けてくれる。

」